

世界の平和事業家 20 人

オランダ・ハーグ展について

財団法人人間自然科学研究所

カーネギーの寄付によって創設された「平和宮」（オランダ・ハーグ市、国際司法裁判所など国際機関が多数入っている）の 100 周年記念事業として、「世界の平和事業家 20 人」展にこのたび、小松電機産業株式会社代表取締役・財団法人人間自然科学研究所理事長の小松昭夫が選ばれたとの通知がありました。

この展示は、INMP（平和のための博物館国際ネットワーク）の統括コーディネーター・ピーター・ヴァン・デン・デュンゲン博士（イギリス・ブラッドフォード大学教授）によって企画されたものです。

開会式は 9 月 3 日に、ハーグ市庁舎で行われます。（その後、世界各国で巡回展予定）

この開会式にあわせて、ベルタ・フォン・ズットナー（ノーベルの秘書、女性として初めてのノーベル平和賞受賞者、第 1 次世界大戦前のベストセラー『武器を捨てよ』の著者）の胸像の除幕式も行われます。小松理事長は、開会式・除幕式に参加する予定です。

【世界の平和フィランソロピスト（事業家）20 人】

1. Andrew Carnegie アンドリュー・カーネギー（1835-1919）
2. Albert Smiley アルバート・K. スマイリー（1828-1912）
3. Alfred Nobel アルフレッド・ノーベル（1833-1896）
4. Priscilla Peckover プリシラー・ペコヴァー（1833-1931）
5. Jan Bloch ジャン・ブロッホ（1936-1902）
6. Edwin Ginn エドウィン・ジン（1938-1914）
7. Johan Wateler J.G.D.ワテラー（1858-1927）
8. Henry Ford ヘンリー・フォード（1863-1947）
9. John D. Rockefeller, Jr. ジョーン・D. ロックフェラーJr.

（1874-1960）
10. Cyrus Eaton サイプラス・イートン（1883-1979）

11. Nobuo Nakano 中野信夫 (1910-2010)
12. Young Seek Choue 趙 永植: チョウ・ヨンシツク(1921-2012)
13. Joan Kroc ジョーン・クロック (1928-2003)
14. Cora Weiss コーラ・ワイス (1934-)
15. Ted Turner テッド・ターナー (1938-)
16. Akio Komatsu 小松 昭夫 (1944-)
17. Mo Ibrahim モー・イブラハム (1946-)
18. Richard Branson リチャード・ブランソン
19. Bill Gates ビル・ゲイツ (1955-)
20. Melinda Gates ミランダ・ゲイツ (1964-)

平和慈善事業の今昔

アンドリュー・カーネギーの贈り物

平和宮 100 周年記念展示会（1913-2013）

はじめに

国連の国際司法裁判所本部のあるハーグには「平和宮（ピース・パレス）」がある。これは、世界平和、国際司法、そして戦争の廃絶に貢献して来た、世界の中で最も古く、素晴らしく、かつ重要な建物である。アンドリュー・カーネギーの贈り物であるこの建物は、平和慈善事業の最たるものであり、彼が 20 世紀初頭に財政支援した 3 つの平和の殿堂の中の 1 つである。

彼はまた、「教育と知識は国際理解と平和を促進する」という信念に基づき、2500 を越す図書館を英語圏に創設した。

現在の展示は、19 世紀から今日までの過去 100 年に渡る、主だった平和事業に焦点を当てている。カーネギーや他の著名な平和慈善家は言うに及ばず、ほとんど無名の平和慈善家達を称えている。カーネギーの考えに沿い、平和への弛まざる投資に特別な関心が傾注されてきた。平和の研究と探求には、平和教育、平和維持に関わ

る多くの様々な機関や団体を収容する建物が必要である。たとえば、国連および国連傘下の多くの機関、大学の平和教育プログラム、民間の平和研究所、平和博物館のような公的教育機関などである。第2の平和慈善事業のタイプは、ピースメーカーおよび彼らの業績を称え、それをさらに世に知らしめる事業である。その最たる例はノーベル賞平和賞の創設である。第3の平和事業のタイプは、公園や庭園の造園、記念碑や記念物の建立等を通じて公共生活において平和を顕彰ことである。さらにもう1つの平和慈善事業のタイプは、外交官や活動家までも参加の枠を広げた様々な会議や集会の支援である。展示会はここに述べた様々な平和慈善事業のそれぞれの分野からいくつかの代表的なものを選び展示することが出来るだけである。

展示会は、説明図や簡単な説明文のある26のパネルからなる。それぞれのパネルは約2×1メートルの大きさである。最初に3つの導入パネルがあり、5つの区画に分けられる。導入パネルというのは、アンドリュー・カーネギーと彼の平和慈善哲学を紹介したものである。第1区画と第2区画はそれぞれ、過去と現在に至る8つの顕著な平和慈善事業家達の事例研究を展示する。おそらくさほど驚くに値しないかもしれないが、その半数は米国人である。第3区画は、(ここで定義している、平和に直接関係しているわけではないが、大きくみれば関連している)、現代における主要な大慈善家を紹

介している。第 4 区画では、いくつかの重要な平和慈善財団を簡単に紹介する。第 5 区画はカーネギー平和殿堂やノーベル平和賞のように恒久性ある意義深い多彩な事業を展示する。

一口に慈善事業と言っても非常に範囲が広く、人生全般を含むこともある。今日、慈善事業の主な受益者というのは、健康、教育、科学、芸術、気候の変動、環境、開発、貧困からの脱出の分野に見られる。これらの課題は、戦争の継続、紛争、武器（大量破壊武器から小規模兵器に至るまで）、兵器の増大と使用等と無関係ではない。戦争と暴力の文化を平和と非暴力の文化に変容することは、現代における避けて通れない責務であり、とてつもない資源を必要としている。カーネギー等の手本に学ぶことによって、今日の慈善家達はこの手順を大きくすすめることが出来るのである。

INMP 統括コーディネーター

ピーター・ヴァン・デン・デュンゲン

【日本人2人のパネル紹介文】

小松昭夫（1944-）

日本人実業家で、1973年小松電機産業を設立、シートシャッター「門番」とクラウド水総合管理システム「やくも水神」の2つの新産業を興した。1994年人間自然科学研究所財団を設立、治水の偉人「周藤彌兵衛翁」顕彰事業から活動を始めた。

戦後責任を自覚、生命・人類の特性・世界史の視点で「民間外交」を展開、アジアをはじめ世界の戦争と平和記念館を訪問、追悼・献花・寄付を続けている。核大国の中国、米国、露国の影響下にある朝鮮半島と日本列島から世界平和の礎を築くための人道主義的実践はきわめて意義深い。

平和・環境・健康をテーマに多くの国際セミナーを開催。2002年中日英三カ国語「論語」を出版、日中両国政府に贈呈。2008年中日韓英四カ国語「中国古典名言録」を出版、北京で「国民国連構想」を発表した。2013年コンセプト映像「出雲から陽が昇る」をYouTubeに発表、「和の文化」創造プロジェクトに取り組んでいる。また、ベルタ・フォン・ズットナーの顕彰に努力する日本の中心人物の一人でもある。

*

Akio Komatsu (1944-)

Akio Komatsu is a Japanese industrialist who founded Komatsu Electric Industry in 1973, creating two kinds of new industry; the sheet shutter called *Monban* and the comprehensive cloud water control system called *Yakumo Suishin*. In 1994 he founded the Human, Nature & Science Institute Foundation and began his philanthropy activities.

Realizing his 'after-the-war responsibilities' Komatsu has been active in 'grassroot diplomacy.' He has visited many places of remembrance, war/peace museums in the world, expressing sorrow, offering flowers and giving donations in his efforts to pave the road to world peace from the Japanese Archipelago and the Korean Peninsula where the presence of three nuclear powers, China, America and Russia, is significant. Such practice of his unique humanitarianism is now gaining wider recognition.

He has sponsored many international seminars on peace,

environment and health. In his efforts to promote 'culture of harmony,' he published *The Analects of Confucius* in Chinese, Japanese and English. Then he published *The Chinese Classic Quotations* in four languages, Chinese, Japanese, English and Korean in 2008 in Beijing and announced a People's United Nations scheme. In 2013, he publicized his concept video on You Tube titled *The Sun Rises from Izumo*. He is also one of the main promoters of Bertha von Suttner in Japan.



中野信夫(1910-2010)

医学は戦争の対極にある。したがって、平和運動に指導的役割を果たす医者が多い。日本の眼科医、中野信夫もその一人である。彼は第二次世界大戦中のビルマ戦線で、戦争の悲惨さを身をもって体験した。

1981 年から、京都における平和の草の根運動を指導し、毎年戦争展示会を行った。同時期、京都の立命館大学が、平和と民主主義を促進するための博物館創設を提唱した。

中野博士から 500 万ドルの寄付を受け、1992 年、京都ワールド

ピース・ミュージアムが完成した。これは、大学付属の平和博物館としては世界初で唯一のものである。また日本国内における最大かつ最も優れた平和博物館の一つでもあり、戦時中の日本の様子をありのままに伝える展示で有名である。

Nobuo Nakano (1910-2010)

War is detrimental to health, and medical doctors have often been in the forefront of the peace movement. So Dr. Nobuo Nakano, a Japanese ophthalmologist (eye specialist) who experienced the inhumanity of war during his military service in Burma during World War II.

From 1981, he became very active in the citizens' peace movement in Kyoto which organised annual exhibitions on war for the promotion of peace. At the same time, Ritsumeikan University in Kyoto proposed the creation of a museum to promote peace and democracy.

Thanks to Dr. Nakano's gift of \$ 5 million, the Kyoto Museum for World Peace was opened in 1992. It is the first and so far only

peace museum in the world established within a university. The museum is one of the largest and best peace museums in Japan, and also the first to honestly display the country's war-time past.





ズットナー胸像の左隣が作者[イングリッド・ロレマ氏](#)、
右隣はウェブスター大学の[ロイ・タマシロ教授](#)



小松理事長の隣は[秋葉忠利](#)前広島市長



Korean Independence Komatsu visited the Independence Memorial Hall of Korea, offering flowers and donation with the statement of his call. (1997)



Food aids for the DPRK through the ROK Red Cross Food aids for the DPRK through the ROK Red Cross (1998)



Make Takeshima/Dokdo Island a birthplace of 'peace-culture'! HNS proposed to build statues of women on the Takeshima/Dokdo Island who knit the global coexistence. (1999)



Wajo & Heiwa (Way to Peace) Forum held at Izumo Taisha Shrine in Izumo City, Shimane Pref. (2006)



Komatsu visited the USS Arizona Memorial of the Pearl Harbor Attack, offering flowers and donation with the statement of his call. (2005)



Komatsu visited the Chinese People's Anti-Japanese War Museum, offering flowers and donation with the statement of his call. (2001)